

私とロータリー

寄稿

私たちが生きている社会は、企業や個人の経済活動を縦糸に、様々な団体活動や地域活動を横糸として、経済だけを目的とした活動では結び付きにくい人々が力を合わせ、より力強いコミュニケーション（社会）を織り成しています。

西屋古名
ロータリークラブ

神野 富三



ところで、団体活動やではならない仕事です。合や、趣味で所属するヨ基盤が守られています。非営利組織の運営の多く、ロータリークラブのメンツトクラブの理事や役員、すべからく団体・組織は、人々の「奉仕」によるは、そのほとんどのをしています。正直に言活動というものは、自らって支えられていて、そ方が自身の生業の他に、例えば余暇の時間が減ってがその構成の一員であるれは必ず誰かがやらなく、何らかの団体の理事・役 困ります。という自覚のもと、組織

社会織りなす横糸に

員を兼任しています。しかし、管理組合にしが広がり、自身の人生があまりに卑近な例で恐ろヨットクラブにしろ、豊かになること。諸先輩縮ですが、私自身もいく団体として社会に認知さ方からそれを教えられるつかの小さな会社を経営れることによって、社会のが、私にとってのローするかたわら、住まいで 的責任・役割を果たし、タリー活動です。あるマンションの管理組 快適な住環境や、趣味の

に積極的に
関わること
でコミュニ
ケーション